

長谷川雅枝教授を追悼する

白石 和夫

長谷川雅枝先生は、今年度、数学専修1年生の担任となることが決まっていた。しかし、休職したいので相談に乗ってほしいとの電話を受けたのは、担任としての初仕事、新入生オリエンテーションからわずか2日後のことである。病魔は急速に迫っていた。最初の電話の2日後には、もう、相談のために学校に出向くのも取りやめたいと言うまでになってしまっていた。

長谷川雅枝先生は、東京学芸大学数学科を卒業された後、都内の公立小学校で教員としての経験を重ね、江東区教育委員会、都立教育研究所を経て、2001年4月、本学に赴任された。本学に移られる前は、算数科教育、とりわけ、数学的思考方の研究に力を注がれ、本学に移られた後も、各地の小学校に出向き、算数科教育の実践的指導研究に尽力された。本学においては、算数科教育を中心に授業を受け持たれ、実践経験と算数・数学に対する確かな識見とに基づいた学生指導で力量を発揮された。小学校教員希望者に対する論文指導においてもその経験が十分に活かされていたように思う。また、近年は大学生を対象に算数・数学の興味ある教材の開発にも力を注いでいた。

長谷川先生がとりわけ力を注いだのは、数学的思考方を育む授業の構成である。数学的構造にいかに関心させるかに注目し、教え込みでない「気付き」から始まる授業を指向していた。そのような観点から、近年の短期的な視野での指導法に走りがちな風潮には懸念を持たれていた。

長谷川先生は、現職教育も含め、教師教育の重要性を指摘している。学習指導要領は数度にわたり改訂されているが、その成否を握るのは、改定の趣旨を理解し、授業に生かす現職の教師である。小学校算数では、前回の学習指導要領に続き、今回、改訂された学習指導要領においても引き続き

「算数的活動」が強調されている。しかし、算数的活動とは何かという点で、最も大きな混乱が起きている。この点について、長谷川先生は、2009年度の本学教育研究所紀要に寄せた所論で、『算数的活動』は、前回の改定で新たに用いられた文言であり、学習指導方法の原理を目標に示すことにより、児童が目的意識をもって主体的に取り組む授業への改善を強調した。しかし、授業改善どころか、多くの教師は、『算数的活動』の言葉に翻弄され誤解や指導の混乱を招いた」と述べている。そして、算数的活動を、「基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるとともに、数学的な思考力・表現力を高めたり、算数を学ぶことの楽しさや意義を実感したりするための学習指導方法」としている。今回の改訂では算数的活動の具体例が例示されたけれども、「例示されたものだけでは不十分であるとともに、活動が形式的に行われる危険性もある」と続けている。そして、今回の学習指導要領改訂で、算数の目標に、初めて、「数学的な思考力・表現力の育成」の文言が追加されたことを評価している。しかし、その一方で、学習指導要領解説において数学的思考力に関する詳しい解説が見られないことを「期待はずれ」と評している。先生の研究活動は数学的思考方とは何かを明確にしようとするものであった。それを世の中に十分に広げる前の急逝は無念であったことと思う。

我々は、常にこやかで、元気はつらつとした先生の姿を忘れることができない。そして、先生の遺志を胸に、現職教育を含め、教師教育に全力を傾注することを誓いたい。

(しらいし かずお 文教大学教育学部学校教育課程数学専修)

長谷川雅枝教授略歴・研究業績

【略歴・職歴等】

- 1971年3月 東京学芸大学教育学部数学科卒業
2001年4月 文教大学教育学部学校教育課程専任講師
2004年4月 文教大学教育学部学校教育課程助教授
2007年4月 文教大学教育学部学校教育課程准教授
2008年4月 文教大学教育学部学校教育課程教授
2010年7月6日 逝去 享年61歳



【校務】

- 2002年4月 文教大学越谷キャンパス保健センター主任（2004年3月まで）
2004年4月 文教大学越谷校舎就職委員（2008年3月まで）

学会活動及び研究活動

【所属学会】

日本数学教育学会

【社会的活動】

- 2001年より教科書編集委員（大日本図書株式会社）及び教師用指導書分担執筆
2005年より『算数教育』（日本数学教育学会誌）編集担当
東京都の公立学校の算数教育研究会、校内研究会の講師など講演多数

研究業績

【図書】

- 1983 『個に応じる授業設計の工夫：コンピュータを活用した算数教材の開発』（東京都教員研究生研究報告書：昭和63年度）
1993 「図形の面積」の授業における発問『個に応じた算数授業の全発問第5学年』明治図書出版
2004 『数学的な考え方を育てる発展学習の実践とアイデア集1（1-3年編）』明治図書出版
2004 『数学的な考え方を育てる発展学習の実践とアイデア集2（4-6年編）』明治図書出版
2004 『算数教育指導用語辞典』第3版 日本数学教育学会編 教育出版

【論文】 共著含む

- 1991 「11-2 数学的な考え方を伸ばすパソコンの活用：パソコンの情報提供機能を有効に活かして」『日本数学教育学会誌 臨時増刊 総会特集号』73
1992 「7A-1 数学的な考え方・態度を育てる発問の分析とその評価—その1」『日本数学教育学会誌 臨時増刊 総会特集号』74
1992 「B14 21世紀の算数・数学科の教育課程を考えるための調査：小学校算数科の考察（B 教授・学習過程分科会）」『数学教育論文発表会論文集』25
1993 「21世紀の算数・数学科の教育課程を考えるための調査：小学校算数科の考察」『日本数学教育学会誌 臨時増刊 数学教育学論究』60
1994 「「21世紀の算数・数学科の教育課程を考えるための調査」について：小学校関係調査結果の概要」『日本数学教育学会誌』76（6）

- 2000-2001 「連載講座 問題解決とその指導をはっきりさせよう」『楽しい算数の授業』194-199
- 2002 「小学校算数の教科書の現状と課題」『教育研究所紀要』11
- 2002-2003 「連載講座 算数科授業改善のポイント」『楽しい算数の授業』212-223
- 2003 「算数科の調査内容及び結果の考察－小学校6学年を中心に－」『教育研究所紀要』12
- 2003 「あらためて考えよう－位取り記数法とそのよさ－」『たのしい学校』1月6日号 大日本図書
- 2003 「いろいろなかさづくり－算数的活動に高めよう－」『たのしい学校』9月1日号 大日本図書
- 2004 「長方形を正方形にする－和算の図形パズルに挑戦しよう」『たのしい学校』4月9日号 大日本図書
- 2004 「米国海外教育研修の効果に関する一考察－国際理解教育の意識育成の視点から」『教育研究所紀要』13
- 2005 「算数科における学力問題を考える」『教育研究所紀要』14
- 2006 「考える楽しさとは」『新しい算数研究』422
- 2006 「数学的な考え方と問題解決能力」『日本数学教育学会誌』88 (4)
- 2006 「中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会「審議経過報告」を読む」『日本数学教育学会誌』88 (6)
- 2006 「数学的な考え方と問題解決能力」『日本数学教育学会誌・算数教育』55-2
- 2009 「小学校算数科/中・高等学校数学科改訂学習指導要領の課題」『教育研究所紀要』18